

Plan 指導計画

【到達目標を明確にした指導計画の作成】

生徒の学習意欲を喚起するためには、単に配当時間を示して積み上げていく計画を立てるのではなく、具体的な到達目標を設定し、その目標達成のために指導内容を段階的に設定することが有効である。

Point ゴールからスタートに向かって計画を立てる。

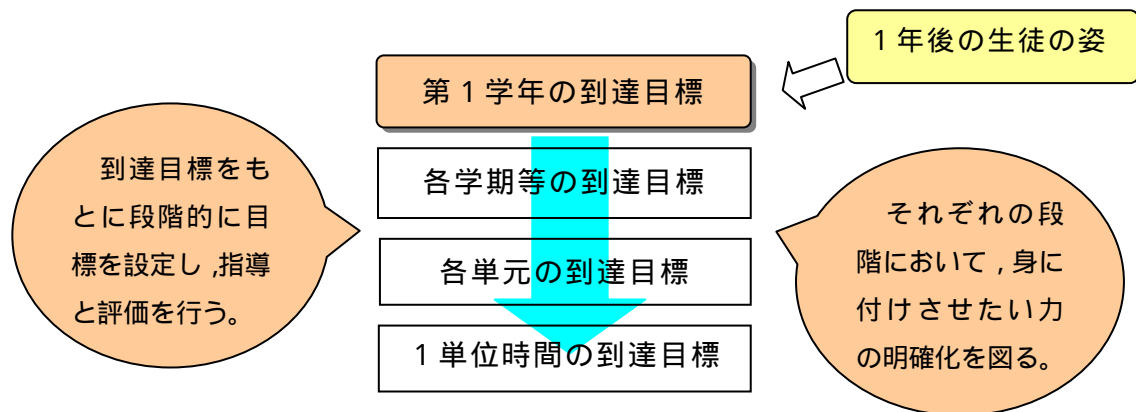
Point 具体的な到達目標を設定する。

(外国語科(英語))

Point ゴールからスタートへ

例えば、1年間の指導計画を立案する際、指導内容を順次積み上げていくスタイルで指導計画を立てるのではなく、まず、1年後に「生徒に身に付けさせたい力」を明確にし、その到達目標をもとに指導計画を立てていくことが大切である。

そのためには、学期や単元などで段階的に身に付けさせたい力を明確にしておくことが必要である。



Point 具体的な到達目標の設定

目標を達成するためには、意図的・計画的な指導を行うことはもちろん、目標が具体的で、生徒にも分かるものでなければならない。つまり、到達目標が生徒にとって目指す目標になると、達成できたときの喜びが得られ、そのことが自信となり、次への意欲付けにもつながるのである。

第1学年における具体的な到達目標と達成のための手段(例)

〔具体的な到達目標〕

- ・400語程度の単語について知っている。
- 〔知識理解〕
話したり、書いたりして表現できる語は200語程度

〔達成のための具体的な手段〕

- ・校内スプリングコンテスト実施(学期1回)
- ・自己表現に役立つ単語シート(動詞・形容詞中心)を単元毎に配布し、年間で単語集を作成